

## 2011年11月19日開催シンポジウム参加者から回収したアンケートでの自由記述回答

### 1) 何を期待して参加しましたか？ その期待は満たされましたか？

- ・どのようなやりとりがおこなわれたかについて、研究者の苦悩を知りたかった
- ・パネルディスカッションや意見交換の場があること
- ・市民は今起きていることをどう受け止めればよいのか、何に気を付ければいいのか、長い時間をかけて何が課題となるのかを聞きたい
- ・海洋汚染の現状を知りたい（3）
- ・わからないことを研究者がどう説明するか
- ・専門家と社会のギャップを科学者はどう認識しているか <一半ほど満たされた
- ・震災による海洋汚染の種々の分野の横断的状況把握の現況を知りたくて
- ・観測、シミュレーションにかかわっている方が、実際はどのようにその結果をとらえているか、知りたいと考えて
- ・観測技術の新しい展示方法
- ・東日本震災関連（本件と「危ないってどういうこと」（市川注：直前のシンポジウム題目））
- ・未来予測・海洋生態系についてももう少し伺えるかと思いましたが、大変勉強になりました
- ・専門家の話を聞いてみたかった < おおむね満足

### 2) 意見・感想

- ・学会HPでもっと分かりやすく広報して下さい
- ・分からないことやマスコミ対応について、研究者個人ではなく、学会として、他分野を含めて統一した情報発信を希望します。一方で、こうした方法で生の声を聞けるのはうれしい。
- ・放射性物質の海洋生態への影響について他ではなかなかうかがえないお話を聞くことができ、参考になった。
- ・何が分かっているのかを分かることも大切だと感じた。
- ・今後も市民と科学者との対話の場を設けてほしい。
- ・サイエンスカフェのスピーカーとしても、是非、積極的に参加してほしい。
- ・提言やシンポジウム、論文だけでなく、毎日、何が起きているのか、何が分かってきたのか、何が課題となっているのか、日々の情報発信をお願いしたい。
- ・また見てみたいと思うものがありましたので、今日のスライドなど、是非、HPで公表して下さい。
- ・どこまでわかっている、何がわかっているのか、そのことが良く理解できた。
- ・海洋汚染の状況を調査することのたいへんさもわかりました。
- ・よくわからないという事がわかった・・・と思いました。次はもっとくわしい話をききたい。
- ・もう少し、現状のことをについて知りたかった。
- ・時間が短かった
- ・定期的に行なってほしい
- ・少しずつでも、専門的な情報を発信してほしい
- ・とても参考になった
- ・今後は沿岸部の情報、知見が知れる会を期待
- ・パネルディスカッションのような、科学者が社会的コミュニケーションをどう考えているかを、最初のプレゼンテーションの時から聞きたかった

- ・国・メディアの問題点をどう克服していくのかという問題について考えていきたいですね。
- ・海洋に限定せず、農産物に対しても聞きたかったので、そのようなシンポジウムがあってもよかった。  
地下水の汚染についてもやはり不安です。現在でも、福島原発から海洋に流されている現状があるということが心配です。  
海に流してしまえば希釈されるから大丈夫・・・みたいに少し聞こえてしまいました。  
積極的に海洋の汚染を下げるということは考えていないのかなという感覚でした（例えば陸地にあるような除染とか）  
わからないということがこれほど不安に思うことはこれまでになかったです。  
被曝の総量の上限のことも、もめています、未来の子供たちに希望がもてるような方向へ行ってほしいです。
- ・「悪者」のメディアに勤める者です。悪口を言われるのは一向にかまいませんが、科学者の人たちの割に何故感情的におっしゃるのか首をかしげます。  
ディスコミュニケーションの背景に一方的な責任や過失があることはむしろ少なく、双方の誤解、あるいは誤解をとうとうとしない怠慢があるはずです。  
例えば、マスコミの手法、不切のこと、報道が帯びる社会的責任などについて、また記者の科学リテラシー欠如について、どれ程ご存知の上で、メディア対応されていますか？  
揚げ足をたられない対応を学ぶ必要も研究者の皆さんにはあると思いますよ。  
信頼という前に、まず相手を知ることからはじめましょう。 XXXX XX（所属、姓）